

三村優美子先生の退任記念号に寄せて

経営学会会長 山 本 寛

三村優美子先生は、1996年4月、本学経営学部教授として着任され、流通政策等の科目を、大学院を含め幅広く担当されてこられました。その後、2020年3月にご定年、退職されるまで長きにわたり研究と学生の教育、指導の任に当たられてきました。

学術面における先生のご活躍は、流通論やマーケティング論の幅広い分野にわたっていらっしゃいます。特に、医薬品や食品の流通、取引慣行の問題や日本の小売業態の成立等のご研究に注力され、数多くの著書や論文を執筆されました。

また、大学行政における先生のご活躍は、学部における主任や経営学部長にとどまらず、大学全体でも図書館長を歴任されるなど、学部及び大学運営に幅広く貢献されました。少子高齢化が進行する中、どの大学、学部も厳しい運営を迫られることが多くなっています。しかし、そうした環境下でも、先生は学部教授会等で見事なリーダーシップを発揮され、学部運営に新機軸を示して下さったり、多くの若手の先生方の教育研究環境に気を使って頂いてきたことを何度も拝見してきました。

さらに、社会における先生のご活躍としては、国税審議会委員、郵政民営化委員会委員、厚生科学審議会臨時委員など、数多くの公職に就かれ、広く商学分野における政策の策定等に関わられてこられました。学問的な研究を政策課題に活かしていくことは、社会科学分野の研究者としての使命だと考えられますが、先生はまさにそれを実践された稀有な研究者だといえます。

さて、経営学部の発展にご尽力頂いた先生が定年を迎えられたことは実に残念でなりません。われわれは、ここに先生のご退任を期に記念の論集を発行し、先生のこれまでのご功績に感謝するとともに、先生のますますのご健勝とご活躍を祈念し、また、後進への変わらないご指導を賜らんことをお願いするものであります。